

部分ごとのお掃除

床や壁

普段のお掃除

ユニットバスの多くの部分は、強化プラスチックが用いられています。住まいの洗剤や浴室用洗剤をスポンジにつけて洗うときれいに保てます。タワシやクレンザーはキズの原因になりますので、使用しないでください。

排水口

普段のお掃除

排水口のヘアキャッチのお掃除はこまめに行ってください。汚れやゴミがたまると排水効率が落ちて、浴槽下などに長時間水分が溜まり、カビや雑菌の繁殖の原因になります。

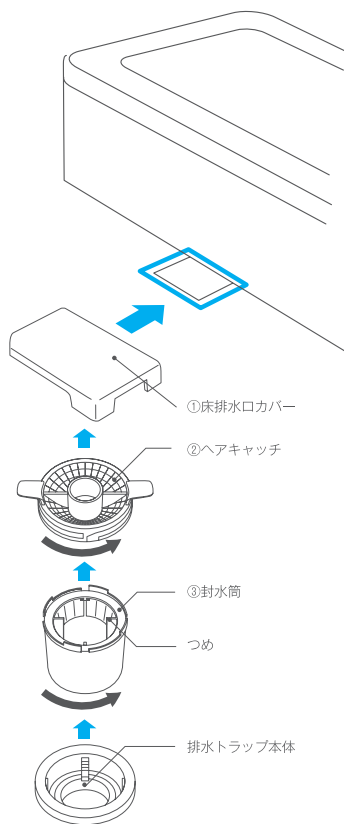
頻度の目安

- ・ヘアキャッチ：毎日
- ・封水筒：1週間に1回

作業手順

- ①床排水口カバーを取り外す。
 - ②ヘアキャッチを回して取り外す。
 - ③封水筒のつめを回して取り外す。
 - ④外した部品・排水トラップ本体の汚れを落とす。
- ・ホコリ・ゴミなどを取り除いてください。

※清掃後は、逆の手順で取り付ける。



カビ

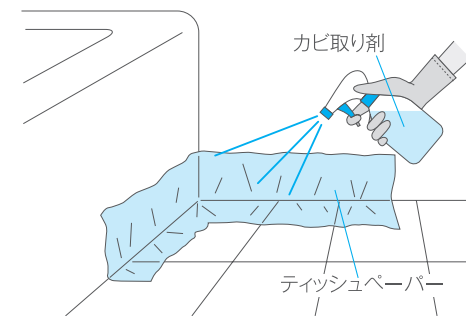
予防

カビが発生するには4つの条件が必要です。①高い湿度②温度③栄養分④酵素の4つです。4つの条件が揃うと、わずか6時間でカビは生え始めます。浴室はこれらの条件が揃いやすい場所です。逆にこれらの条件のうち一つでも欠けるとカビは生えません。4つの条件のうち、温度と酵素の条件を取り除くのはむずかしいので、カビ予防のために

は、“湿度”“栄養分”をなくす工夫をしましょう。湿度については、まずは水が溜まりやすかったり、乾きにくい場所をチェックしてください。タイルの目地、浴槽のフチなどは特に注意しましょう。また、栄養分になるものは、“皮脂”です。石鹸分と共によく洗い流すようにしましょう。

除去テクニック

カビが生えてしまったら、まずはタイル目地用ブラシか歯ブラシや布でこすりながら、できるだけ水で掃除します。それでも取れない場合は、カビ取り剤を使いましょう。カビがひどい部分は、カビ取り剤を含ませたティッシュペーパーを当て、ラップで押さえてしばらく置いてからよく洗い流します。



〔カビがひどい部分の除去方法〕

COLUMN

ユニットバスの特徴

ユニットバスの多くの部分は継ぎ目のない強化プラスチックの一体成形でできています。重い物を落としてヒビを入れたりしない限り、長くご利用いただけます。しかし、床などにヒビを入れてしま

と、全体の交換となり、多額の費用が必要になります。ご注意ください。